



3月になりました。段々と暖かくなってきましたね。花のつぼみを見ると、やっと春が来たのだとウキウキします。さて、皆さんは桜と梅と桃の見分けは付きますか？桜はなんとなく分かるけど梅・桃は分からないという方が、多いのではないのでしょうか？今回は梅・桃・桜の見分け方をご紹介します。

『桜』の花は、枝に直接ではなく、細い茎の先に房状に花が付いているので、全体的にボリュームがあります。花びらの形は楕円で、先が割れています。『梅』は、枝にくっつくように花が咲きます。花芽が1節につき1個なので、たわわに咲くのではなくスカスカした感じで、比較的枝の根元に花が咲きます。『桃』は、枝に沿うように花が咲きます。一箇所に複数の花芽がついており、枝全体に花が付くので、梅よりも華やかに見えます。花びらの先はとがっています。

桜・梅・桃、見た目は似ていても全く違う種類のお花ですね。さて、歯の治療で見た目は白い歯でも、材料・性能など全く違います。より良い材料を選べば、結果的に治療費が安くなることがあります。歯の治療をする時には、ご自身に合うものをしっかりと検討し、治療しましょう。予防の為にしっかりと歯磨きをしてくださいね！

おざわ歯科医院からのお知らせ



むし歯治療は早めに受診しましょう



## ★おすすめ書籍のお知らせ★

この書籍を読んだ患者さんは・・・

- むし歯菌検査（だ液検査）がなぜ必要かがわかります
- キシリトールがなぜ必要かを理解し、効果的な食べ方がわかります
- “歯科医院に家族みんなで予防に通う” きっかけになります



お子様でも読みやすく出来ています！書籍の貸し出しも行っております。

詳細はスタッフまで♪

## 同じ白でもこんなに違う！？気になる前歯の保険と自費の違い

気になる前歯の治療、迷いますね！歯科医院の治療では、国で定めた材料を使用する保険治療と、美しく、長持ちする自費治療を選ぶことができます。保険治療、自費治療共に様々な特徴があるので、ご自身に合った治療を選びましょう。



### ★保険治療と自費治療のメリット・デメリット

#### ■保険治療のメリット

- ・健康保険が使えるので安価。
- ・金属に白いプラスチックを貼りつけた材料ですが、噛む能力を回復するには充分。

#### ■保険治療のデメリット

- ・数年で唾液を含んで色が変わり、膨れてくるので他人に分かってしまう。
- ・金属を使うので金属アレルギーの心配がある。
- ・歯と金属は接着できないので、歯との間に隙間が残り、二次的なむし歯になりやすい。

#### ■自費治療のメリット

- ・天然の歯と分らない、ジルコニアやEマックスなど美しいセラミック素材が使える。
- ・セラミック素材は金属アレルギーの不安がない。
- ・ぴったり歯と接着でき、隙間が残らないので、二次的なむし歯になりにくい。
- ・プラークも付着しにくく、むし歯や歯周病になりにくい。保険よりずっと長持ちする。

#### ■自費治療のデメリット

- ・保険治療に比べ治療費が高い。

※12万円の自費治療でも、10年もてば1年で1万2千円、月1千円、1日33円、なんと1食あたり11円！きれいな歯で暮らせることを考えると高くないかも…。

### ★使用する材料の違い

#### ■保険治療の場合：硬質レジン前装冠

保険治療で前歯に使う材料は『硬質レジン』というプラスチックを金属に貼りつけた素材です。セラミックのような透明感がなく、他の歯より目立ってしまいます。また、プラスチックなので歯ブラシなどの傷つきやすく、唾液の水分を吸って変色し、さらに膨張してしまいます。

#### ■自費：セラミック素材

ジルコニアは、宝飾品のキュービックジルコニアに不純物をまぜて白くした固い素材です。Eマックスは、圧力をかけて粘りをもたせたセラミックです。これらは金属を一切使用しないので金属アレルギーの方も使用できます。また、審美性、耐摩耗性に優れ、ご自分の歯のような美しい仕上がりになります。



自費治療は、1本10万円前後の価格になりますが、長持ちするので長期的に見ればご自分の歯で暮らす期間を延ばすことができます。何度も保険治療を重ねるより、生涯の歯科医療費を抑えられる可能性もあります。お気軽にご相談くださいね。



# おざわ歯科医院

おざわ  
歯科